



営農NEWS



突然の降雪や突風等の被害に対する対応について

冬季には、突発的に降雪や暴風雨などが発生することがあります。本年も、1 月 17～18 日にかけて県内の広い地域に暴風雨があり、また、県西地域を中心に降雪がありました。

これらの影響で、ハウスや果樹、露地野菜に被害が発生した場合には、その程度に応じて適切な対応を行ってください。なお、被害が比較的軽い場合でも、生育への影響、病害の発生などが懸念されますので、必要に応じた対策に努めてください。

1 施設野菜（イチゴ、キュウリ、トマト、ピーマン、メロン、スイカ、ニラ、アスパラガスなど）

果菜類では、開花期から幼果期の耐寒性が低いため、不受精や奇形果などの障害発生に十分注意し、また、低温遭遇による生育不良などに注意が必要です。

葉菜類でも、急激な低温遭遇で生育不良や茎葉の枯死など障害が発生する場合があります。

<対策>

- 1) 施設が倒壊したり、半壊した場合は、安全に修復作業を検討してください。
- 2) ビニールが破れたり、はがれて、ハウス中の作物に被害が生じた場合でも、栽培が継続可能な場合には、早急に破損個所の修復を行い、温度確保に努めます。また、施設内に雪や雨水が侵入した圃場は、換気を図るなどして湿度の低下に努めてください。これら施設内の作物は根傷みなどで草勢が低下しやすくなっているため、果菜類では適正な摘果や早めの収穫で着果負担を軽減します。いずれの作物も、必要に応じて液肥の散布等による生育の回復を図り、さらに病害虫の発生を抑制するための薬剤散布を行ってください。
- 3) 生育初期の作物が被害を受けた場合は、予備苗による植え替えや再播種などを検討して、被害軽減を図ってください。

2 露地野菜（レタス、ハクサイ、キャベツ、ネギ、ブロッコリーなど）

冬春用の品種は、耐寒性が強い傾向ですが、生育が進んで結球期に低温にあうと凍結の被害を生じる場合があります。

<対策>

- 1) ビニールが破れたり、はがれて、トンネル中の作物に被害が生じた場合でも、栽培が継続可能な場合には、早急に破損個所の修復を行います。また、作物が根傷みなどで草勢が低下しやすくなっているため、必要に応じて液肥の散布による生育の回復を図り、さらに病害虫の発生を抑制するための薬剤散布を行ってください。
- 2) 生育初期の作物が被害を受けた場合は、予備苗による植え替えや再播種などを検討して、被害軽減を図ってください。

3 果樹

<対策>

- 1) 樹体被害の損傷に応じて、かすがいやボルト等を使っての損傷部の癒合や改植等の検討が必要になります。
- 2) 倒伏した場合は、健全な根を切らないように、出来る限り早く引き起こし、支柱を添えて固定します。また、枝が裂けた場合は、針金やボルト等で結合し、傷口に塗布剤を塗っておきましょう。
- 3) 被害により樹勢が弱まっている場合は、必要に応じて樹勢に見合った適正な剪定や施肥による生育の回復を図り、さらに、薬害の発生に留意しながら、病害虫の発生を抑制するための薬剤散布を行ってください。

◎生育回復の対策（葉面散布剤の使用方法）

<葉菜類や根菜類>

- 1) メリット青 300～500 倍＋グリーンセーフ S 1,000 倍を、3～5 日おきに 2 回程度の葉面散布を行います。 または
- 2) ファイトオーツー 1,000 倍＋ファイトマジック 1,000 倍を、5～7 日おきに 2～3 回の葉面散布を行います。

<果菜類>

- 1) メリット青またはメリット黄 300～500 倍＋グリーンセーフ S 1,000 倍を、3～5 日おきに 2 回程度の葉面散布を行います。 ※ 青・黄は生育に応じて使い分けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040